

地或振興会議資料	
令和3年5月27日	
担当課	政策企画課
担当(電話)	平田(0857-30-8012)

日本庁舎等跡地の活用について

56年もの長きにわたり、市民の皆様に親しまれてきた鳥取市役所日本庁舎は、耐震基準を満たしていないため、また、老朽化が進んでいるため、解体することとなりました。

日本庁舎と第2庁舎が立地していた場所は、長年多くの方々に利用され、親しまれてきた全市民の貴重な財産であると考えています。そのため、本市では、跡地の利活用を検討するに当たり、様々な方法で多くの方々に幅広くご意見を伺うべきであると考え、これまでに市民ワークショップや市長と若者との意見交換会（ストリートミーティング）等でたくさんのご意見をお寄せいただきました。

その後、市民アンケートにより、広く市民のニーズや意見を統計的に把握・分析し「求められる機能」の絞り込みを行いました。

そして、令和3年度は「求められる機能」をもとに、市民ワークショップや市民アンケートなどを実施しながら整理・絞り込みを行い、本市として跡地活用の一定の方向性を示すこととしていますので、今後ともご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

1 これまでの経緯と今後の流れ

H30.8～

「本庁舎等跡地活用に関する検討委員会」設置

跡地活用検討の手順・手法のご提案をいただきました。

令和2年3月2日に、「本庁舎等跡地活用に関する検討委員会」から、跡地の活用策決定までのプロセスに関する報告書が提出されました。利活用を検討し意見を取りまとめるにあたっては、提案した検討プロセスを基に、幅広く意見をお伺いし、より多くの理解と納得を得られるよう提案されました。



提案書提出

R2.3

活用策決定までのプロセスに関する報告書提出

R2.5～

「旧本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会」設置

市民や団体のみなさまからご意見をいただき、「求められる機能」を絞り込みました。

R2.10～

市民参画による「求められる機能」の協議・検討



ワークショップ

跡地に求められる機能について、各種団体との意見交換会、市民ワークショップ、大学生や高校生などを対象としたストリートミーティング、市民アンケートなどを実施し市民のご意見を伺いました。多くのご意見をお寄せいただきありがとうございました。

本庁舎跡地に「求められる機能」を絞り込みました。

R3.3

「求められる機能」の整理

今後は跡地活用策の「一定の方向性」を示します。

R3.5～

市民参画による「跡地活用」の協議・検討

「求められる機能」をもとに、市民ワークショップや市民アンケートなどを実施し、跡地活用について市民のご意見を伺います。そして、活用案を比較・評価し、跡地活用の一定の方向性を示すこととしていますので、今後ともご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

R3 年度中

一定の方向性を示す

現在は
ここ

2 求められる機能

○これまで、各種団体意見交換会やストリートミーティング、市民ワークショップなど、市民参画により多くのご意見を伺い、その意見を取りまとめ12の機能に整理しました。

○その後の市民アンケートの結果や専門家委員会での議論を踏まえるとともに、関連計画等から総合的・客観的に判断し、5つの機能に絞り込みました。

機能	活用の一例
① 教育・学習機能	カルチャーセンター、専門学校、図書館など
② 医療・福祉機能	病院、クリニック、保育所など
③ 健康増進機能	スポーツ施設、スケートリンクなど
④ 憩いの場・コミュニティ機能	公民館、コミュニティセンター、自由に出入りできる屋内スペースなど
ビジネス機能	オフィス、飲食店など
観光・コンベンション機能	特産品展示販売、観光情報発信拠点など
⑦ 娯楽・レジャー機能	映画館、プラネタリウムなど
⑧ 芸術・文化機能	美術館、音楽ホール、多目的ホールなど
⑨ オープンスペース機能	公園・緑地・広場など
生活基盤充実機能	マンション、高齢者住宅、銀行、行政窓口、スーパーなど
交通機能	バスターミナル、駐車場など
⑫ 防災・減災機能	避難施設、防災拠点施設など

(1) いかなる活用を行う際でも、防災・減災機能は取り入れることとしました。

(2) 教育・学習機能と 芸術・文化機能は統合し、1つの機能としました。

(3) 医療・福祉機能と 健康増進機能は統合し、1つの機能としました。

(4) ビジネス機能、観光・コンベンション機能、生活基盤充実機能、交通機能は選定しないが、今後、活用を検討していくうえで、複合施設等の一部として取り入れることも考えることとします。

(5) 絞り込んだ機能のイメージは下図のとおりです。

・ 教育・学習・ 芸術・文化	・ 医療・福 祉・健康増進	憩いの場・ コミュニティ	娯楽・レジャー	オープンスペース
防災・減災				

3 これまでお寄せいただいたご意見

- ・ 鳥取市民会館など周辺施設と一体的に活用する。
- ・ 市の財政負担(建設費、維持費)を極力少なくする。
- ・ 利用者が限定されないような活用を図る。
- ・ 民間活力の積極的な活用を図る。
- ・ 複合的な活用を図る。
- ・ 近隣の商店街等の活性化に貢献する利用を図る。
- ・ 若者の流出抑制・定住促進につながる利用を図る。
- ・ 高齢者が安心して住み続けることができる利用を図る。
- ・ 市外、県外から人を惹きつけるような利用を図る。
- ・ 歴史・文化ゾーンにふさわしい利用を図る。

4 市民ワークショップ

旧本庁舎跡地活用について、班毎に5つの機能の整理・絞り込みを行いながらどのような跡地活用がよいか話し合い、提案していただきます。

開催日	会場
6月5日(土)	福祉文化会館
6月6日(日)	市役所本庁舎
6月13日(日)	市役所本庁舎

5 旧本庁舎と第二庁舎の解体工事

本年7月から令和4年6月末までの間、旧本庁舎と第2庁舎の解体撤去工事を行う予定です。旧本庁舎と第2庁舎につきましては、安全面や周辺環境への影響などから、なるべく早期に解体撤去を行うべきとの方針で工事の準備を進めてまいりました。安全面に十分配慮しながら工事を進めていきますので、ご協力よろしく申し上げます。

福部町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			中期(～R元年度)における総括		R2年度				R3年度		備考	担当課 (支所・本課)			
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容			予算額 (千円)		
			～H29年度	～R元年度	～R5年度													
①防災対策	河川改修や内水排除施設の整備など治水対策の促進を図り、浸水被害のない安全で安心な暮らしの確保に努める。	治水対策を図り、安全で安心な暮らしを確保する 【地域防災力の向上】	○塩見川河川改修事業の実施計画区間の早期完成	○未着手区間の実施計画策定と整備促進	○河川整備計画の目的である流下能力向上に向けた整備促進、整備手法の変更による工期短縮及び暫定断面での整備により早期の流下能力向上効果を得る。	○河川整備計画の目的である流下能力向上に向けた整備促進、整備手法の変更による工期短縮及び暫定断面での整備により早期の流下能力向上効果を得る。	○河川整備計画の目的である流下能力向上に向けた整備促進、整備手法の変更による工期短縮及び暫定断面での整備により早期の流下能力向上効果を得る。	○河川整備計画の目的である流下能力向上に向けた整備促進、整備手法の変更による工期短縮及び暫定断面での整備により早期の流下能力向上効果を得る。	○河川整備計画の目的である流下能力向上に向けた整備促進、整備手法の変更による工期短縮及び暫定断面での整備により早期の流下能力向上効果を得る。	○河川整備計画の目的である流下能力向上に向けた整備促進、整備手法の変更による工期短縮及び暫定断面での整備により早期の流下能力向上効果を得る。	○河川整備計画の目的である流下能力向上に向けた整備促進、整備手法の変更による工期短縮及び暫定断面での整備により早期の流下能力向上効果を得る。	○河川整備計画の目的である流下能力向上に向けた整備促進、整備手法の変更による工期短縮及び暫定断面での整備により早期の流下能力向上効果を得る。	○河川整備計画の目的である流下能力向上に向けた整備促進、整備手法の変更による工期短縮及び暫定断面での整備により早期の流下能力向上効果を得る。	○河川整備計画の目的である流下能力向上に向けた整備促進、整備手法の変更による工期短縮及び暫定断面での整備により早期の流下能力向上効果を得る。	○河川整備計画の目的である流下能力向上に向けた整備促進、整備手法の変更による工期短縮及び暫定断面での整備により早期の流下能力向上効果を得る。	○河川整備計画の目的である流下能力向上に向けた整備促進、整備手法の変更による工期短縮及び暫定断面での整備により早期の流下能力向上効果を得る。	○河川整備計画の目的である流下能力向上に向けた整備促進、整備手法の変更による工期短縮及び暫定断面での整備により早期の流下能力向上効果を得る。	
			○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討	○塩見川河川改修工事の整備状況に併せ、ポンプ車設置場所の検討
			○内水排除に関する基本計画を検討し塩見川河川改修事業の整備状況等併せ実施計画を策定	○内水排除に関する基本計画を検討し塩見川河川改修事業の整備状況等併せ実施計画を策定	○内水排除に関する基本計画を検討し塩見川河川改修事業の整備状況等併せ実施計画を策定	○内水排除に関する基本計画を検討し塩見川河川改修事業の整備状況等併せ実施計画を策定	○内水排除に関する基本計画を検討し塩見川河川改修事業の整備状況等併せ実施計画を策定	○内水排除に関する基本計画を検討し塩見川河川改修事業の整備状況等併せ実施計画を策定	○内水排除に関する基本計画を検討し塩見川河川改修事業の整備状況等併せ実施計画を策定	○内水排除に関する基本計画を検討し塩見川河川改修事業の整備状況等併せ実施計画を策定	○内水排除に関する基本計画を検討し塩見川河川改修事業の整備状況等併せ実施計画を策定	○内水排除に関する基本計画を検討し塩見川河川改修事業の整備状況等併せ実施計画を策定	○内水排除に関する基本計画を検討し塩見川河川改修事業の整備状況等併せ実施計画を策定	○内水排除に関する基本計画を検討し塩見川河川改修事業の整備状況等併せ実施計画を策定	○内水排除に関する基本計画を検討し塩見川河川改修事業の整備状況等併せ実施計画を策定	○内水排除に関する基本計画を検討し塩見川河川改修事業の整備状況等併せ実施計画を策定	○内水排除に関する基本計画を検討し塩見川河川改修事業の整備状況等併せ実施計画を策定	○内水排除に関する基本計画を検討し塩見川河川改修事業の整備状況等併せ実施計画を策定
②産業・観光振興	鳥取砂丘を中心にジオエリアを観光資源として活用し、今までの観光農業を魅力的に発展させながら、農産物加工など新たな観光の創設し、特色を活かした地域情報を全国発信する。	ジオサイトを有効活用する 【滞在型観光の推進】	○近隣のジオサイトと連携	○新たな観光ルートの検討	○観光資源の開発と利活用を促し、特色ある地域情報として全国発信	○観光資源の開発と利活用を促し、特色ある地域情報として全国発信	○観光資源の開発と利活用を促し、特色ある地域情報として全国発信	○観光資源の開発と利活用を促し、特色ある地域情報として全国発信	○観光資源の開発と利活用を促し、特色ある地域情報として全国発信	○観光資源の開発と利活用を促し、特色ある地域情報として全国発信	○観光資源の開発と利活用を促し、特色ある地域情報として全国発信	○観光資源の開発と利活用を促し、特色ある地域情報として全国発信	○観光資源の開発と利活用を促し、特色ある地域情報として全国発信	○観光資源の開発と利活用を促し、特色ある地域情報として全国発信	○観光資源の開発と利活用を促し、特色ある地域情報として全国発信	○観光資源の開発と利活用を促し、特色ある地域情報として全国発信	○観光資源の開発と利活用を促し、特色ある地域情報として全国発信	
			○観光梨狩り園の活性化を図るため課題・問題を把握	○活性化策の検討と生産者の意思統一	○活性化策の実践と検証を行い、魅力のある梨狩り園を全国PR	○活性化策の実践と検証を行い、魅力のある梨狩り園を全国PR	○活性化策の実践と検証を行い、魅力のある梨狩り園を全国PR	○活性化策の実践と検証を行い、魅力のある梨狩り園を全国PR	○活性化策の実践と検証を行い、魅力のある梨狩り園を全国PR	○活性化策の実践と検証を行い、魅力のある梨狩り園を全国PR	○活性化策の実践と検証を行い、魅力のある梨狩り園を全国PR	○活性化策の実践と検証を行い、魅力のある梨狩り園を全国PR	○活性化策の実践と検証を行い、魅力のある梨狩り園を全国PR	○活性化策の実践と検証を行い、魅力のある梨狩り園を全国PR	○活性化策の実践と検証を行い、魅力のある梨狩り園を全国PR	○活性化策の実践と検証を行い、魅力のある梨狩り園を全国PR	○活性化策の実践と検証を行い、魅力のある梨狩り園を全国PR	○活性化策の実践と検証を行い、魅力のある梨狩り園を全国PR
			○らっきょう生産の課題・問題を前提とした生産者の意識統一	○らっきょう産地維持のための施策を展開	○畑の景観・花など多様な視点に付加価値を付け、魅力的な観光資源に育成し全国PR	○畑の景観・花など多様な視点に付加価値を付け、魅力的な観光資源に育成し全国PR	○畑の景観・花など多様な視点に付加価値を付け、魅力的な観光資源に育成し全国PR	○畑の景観・花など多様な視点に付加価値を付け、魅力的な観光資源に育成し全国PR	○畑の景観・花など多様な視点に付加価値を付け、魅力的な観光資源に育成し全国PR	○畑の景観・花など多様な視点に付加価値を付け、魅力的な観光資源に育成し全国PR	○畑の景観・花など多様な視点に付加価値を付け、魅力的な観光資源に育成し全国PR	○畑の景観・花など多様な視点に付加価値を付け、魅力的な観光資源に育成し全国PR	○畑の景観・花など多様な視点に付加価値を付け、魅力的な観光資源に育成し全国PR	○畑の景観・花など多様な視点に付加価値を付け、魅力的な観光資源に育成し全国PR	○畑の景観・花など多様な視点に付加価値を付け、魅力的な観光資源に育成し全国PR	○畑の景観・花など多様な視点に付加価値を付け、魅力的な観光資源に育成し全国PR	○畑の景観・花など多様な視点に付加価値を付け、魅力的な観光資源に育成し全国PR	○畑の景観・花など多様な視点に付加価値を付け、魅力的な観光資源に育成し全国PR
③交通対策	砂丘周辺で発生する交通渋滞を緩和するため、現在行っている施策をより効果的なものとして充実させる。	鳥取砂丘周辺の交通渋滞を緩和する 【生活基盤の充実】 【商業・サービス業の振興】	○利用者が分かりづらい福部IC付近の誘導案内の見直し	○誘導ルートの検討と併せた砂丘周辺道路の誘導案内の見直し	○臨時案内を含め、観光客が分かり易い誘導案内対策の実施	○臨時案内を含め、観光客が分かり易い誘導案内対策の実施	○臨時案内を含め、観光客が分かり易い誘導案内対策の実施	○臨時案内を含め、観光客が分かり易い誘導案内対策の実施	○臨時案内を含め、観光客が分かり易い誘導案内対策の実施	○臨時案内を含め、観光客が分かり易い誘導案内対策の実施	○臨時案内を含め、観光客が分かり易い誘導案内対策の実施	○臨時案内を含め、観光客が分かり易い誘導案内対策の実施	○臨時案内を含め、観光客が分かり易い誘導案内対策の実施	○臨時案内を含め、観光客が分かり易い誘導案内対策の実施	○臨時案内を含め、観光客が分かり易い誘導案内対策の実施	○臨時案内を含め、観光客が分かり易い誘導案内対策の実施	○臨時案内を含め、観光客が分かり易い誘導案内対策の実施	
			○現行臨時駐車場の継続的確保	○新たな臨時駐車場の確保	○臨時駐車場を含めた全駐車場の効率的利用方法を確立	○臨時駐車場を含めた全駐車場の効率的利用方法を確立	○臨時駐車場を含めた全駐車場の効率的利用方法を確立	○臨時駐車場を含めた全駐車場の効率的利用方法を確立	○臨時駐車場を含めた全駐車場の効率的利用方法を確立	○臨時駐車場を含めた全駐車場の効率的利用方法を確立	○臨時駐車場を含めた全駐車場の効率的利用方法を確立	○臨時駐車場を含めた全駐車場の効率的利用方法を確立	○臨時駐車場を含めた全駐車場の効率的利用方法を確立	○臨時駐車場を含めた全駐車場の効率的利用方法を確立	○臨時駐車場を含めた全駐車場の効率的利用方法を確立	○臨時駐車場を含めた全駐車場の効率的利用方法を確立	○臨時駐車場を含めた全駐車場の効率的利用方法を確立	○臨時駐車場を含めた全駐車場の効率的利用方法を確立
			○特産品化を前提とした農産物をJAや農家と共同で選定	○農家への生産奨励と特産品の加工品開発や販売促進	○地域特産品、鳥取砂丘関連産品としてPR	○地域特産品、鳥取砂丘関連産品としてPR	○地域特産品、鳥取砂丘関連産品としてPR	○地域特産品、鳥取砂丘関連産品としてPR	○地域特産品、鳥取砂丘関連産品としてPR	○地域特産品、鳥取砂丘関連産品としてPR	○地域特産品、鳥取砂丘関連産品としてPR	○地域特産品、鳥取砂丘関連産品としてPR	○地域特産品、鳥取砂丘関連産品としてPR	○地域特産品、鳥取砂丘関連産品としてPR	○地域特産品、鳥取砂丘関連産品としてPR	○地域特産品、鳥取砂丘関連産品としてPR	○地域特産品、鳥取砂丘関連産品としてPR	○地域特産品、鳥取砂丘関連産品としてPR
④教育のあり方	福部小・中学校の将来を見据えた学校の在り方について今後も議論を深め、地域が願う教育の在り方を実践するため、地域と学校が一体となって教育環境の改善を行う。	幼・小・中学校10年間の一貫校とする 【教育の充実・郷土愛の醸成】 【教育の充実・郷土愛の醸成】	○実現に向け具体的な行動	○一貫校としての教育の検証及び環境整備の実施	○一貫校としての教育の検証及び環境整備の実施	○一貫校としての教育の検証及び環境整備の実施	○一貫校としての教育の検証及び環境整備の実施	○一貫校としての教育の検証及び環境整備の実施	○一貫校としての教育の検証及び環境整備の実施	○一貫校としての教育の検証及び環境整備の実施	○一貫校としての教育の検証及び環境整備の実施	○一貫校としての教育の検証及び環境整備の実施	○一貫校としての教育の検証及び環境整備の実施	○一貫校としての教育の検証及び環境整備の実施	○一貫校としての教育の検証及び環境整備の実施	○一貫校としての教育の検証及び環境整備の実施	○一貫校としての教育の検証及び環境整備の実施	
			○学校運営協議会の設立	○学校運営協議会への支援	○学校運営協議会への支援	○学校運営協議会への支援	○学校運営協議会への支援	○学校運営協議会への支援	○学校運営協議会への支援	○学校運営協議会への支援	○学校運営協議会への支援	○学校運営協議会への支援	○学校運営協議会への支援	○学校運営協議会への支援	○学校運営協議会への支援	○学校運営協議会への支援	○学校運営協議会への支援	○学校運営協議会への支援
			○住民が願うあるべき学校の目標設定	○住民意識の向上と積極的参加	○まちづくりに繋がる施策を展開	○まちづくりに繋がる施策を展開	○まちづくりに繋がる施策を展開	○まちづくりに繋がる施策を展開	○まちづくりに繋がる施策を展開	○まちづくりに繋がる施策を展開	○まちづくりに繋がる施策を展開	○まちづくりに繋がる施策を展開	○まちづくりに繋がる施策を展開	○まちづくりに繋がる施策を展開	○まちづくりに繋がる施策を展開	○まちづくりに繋がる施策を展開	○まちづくりに繋がる施策を展開	○まちづくりに繋がる施策を展開

福部町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			中期(～R元年度)における総括		R2年度				R3年度		備考	担当課 (支所・本課)	
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容			予算額 (千円)
			～H29年度	～R元年度	～R5年度											
⑤ファシリティマネジメントの推進	鳥取市公共施設の経営基本方針に沿って、支所、コミュニティセンターや中学校などの市有施設の適切な管理と効率的な活用を図る。	総合支所及びコミュニティセンターの整備等 【ファシリティマネジメントの推進】		○支所庁舎の耐震化工事及びコミュニティセンター複合化工事の推進	○複合化された支所・コミュニティセンターの効率的な運用を図る	・支所庁舎の耐震化工事をR元年10月末に完了し12月に新庁舎で業務開始。 ・コミュニティセンター複合化工事の開始(R2年3月)。	・コミュニティセンター複合化工事がR2年10月末に完成予定。	・コミュニティセンター複合化工事がR2年10月末に完成、12月1日より新コミュニティセンター利用開始。			A.達成	5.休止、廃止、終了			財産経営課 福部町総合支所 教育総務課	
				○旧コミュニティセンター及び町民体育館の解体撤去後の利用方法を検討	○旧コミュニティセンター及び町民体育館の解体撤去後の利用計画を策定・実施	・関係団体への意向アンケート調査を実施 ・関係各課と協議	・解体撤去後の跡地利用策について関係各課でのワーキングなど協議を継続し、計画を策定・実施する。	跡地利用について地域内外の状況を見極めながら検討を行う。			A.達成	3.現状維持	跡地利用について地域内外の状況を見極めながら検討を行い、時期を見計らって住民アンケートを実施。			
				○中学校校舎の空き教室の利用方法を検討	○中学校校舎の空き教室の活用方法を検討	学校支援組織の教育支援活動の場として中学校校舎の空き教室を利用することについての調整、支援	関係課、学校と活用について協議。管理棟の一部を学校支援組織が使用することとした	学校とも協議しながら学校支援組織の中学校校舎の空き教室の利用について調整、支援	学校支援組織の教育支援活動の場として中学校校舎の空き教室を利用			A.達成	3.現状維持	学校支援組織の教育支援活動の場として中学校校舎の空き教室を利用することについての調整、支援		
⑥地域内情報伝達の整備	地域コミュニティ活動を円滑に行うため、地域内情報伝達設備を整備する地域への支援を行う。	地域及び行政情報の伝達 【協働のまちづくりの推進】		○各集落の情報通信手段の決定・施行を支援	○各集落の情報通信設備の運用を支援	16自治会で整備を行うとともに、運用方針を作成、R2年2月から音声告知端末の運用を開始。	残り1自治会の整備 伝達設備の運用を支援	整備希望地区17地区すべてで整備完了			A.達成	5.休止、廃止、終了		福部町総合支所		
⑦防犯対策	通学路等に防犯灯を設置するまちづくり協議会を支援する。	防犯灯の設置 【防犯・交通安全対策の充実】		○町内に計画的に防犯灯を設置するまちづくり協議会を支援	○町内に計画的に防犯灯を設置するまちづくり協議会を支援	集落間の通学路に防犯灯を40基設置	残り3基の設置	残り3基について見直しし2基に変更、2基設置し事業完了			A.達成	5.休止、廃止、終了		福部町総合支所		
⑧新たなインターチェンジを利用したまちづくり	山陰近畿自動車道に設置する新たなインターチェンジを活かした福部町のまちづくりを検討する。	新たなインターチェンジを利用したまちづくり		○29年度に策定した「福部町のまちづくり構想」に基づき具体的に検討 ○国県に対し引き続きインターチェンジ設置を要望	○29年度に策定した「福部町のまちづくり構想」に基づき具体的に検討 ○国県に対し引き続きインターチェンジ設置を要望	「福部町まちづくり構想」実施計画に組み込むとともに、国に対して引き続きインターチェンジ設置を要望	「福部町まちづくり構想」実施計画に基づいて取り組みを進めるとともに、国に対して引き続きインターチェンジ設置を要望	「福部町まちづくり構想」実施計画に基づいて取り組みを進めるとともに、国に対して引き続きインターチェンジ設置を要望			B.概ね達成	3.現状維持	「福部町まちづくり構想」実施計画に基づいて取り組みを進めるとともに、国に対して引き続きインターチェンジ設置を要望		福部町総合支所	
⑨空き家対策、移住定住施策の推進	地域が主体となる空き家対策組織の立ち上げを検討・支援し、空き家調査を実施して移住定住施策を推進する。	空き家の利活用を進める団体の模索、団体による空き家調査の実施。			空き家の利活用を進める団体の模索、団体による空き家調査の実施。			空き家の利活用を進める団体の模索			B.概ね達成	3.現状維持	空き家の利活用を進める団体の体制支援、団体による空き家調査の実施。		福部町総合支所	
⑩町内移動手段の改善	今後の人材確保と運営の継続が課題となっている福部循環バスの新たな運行形態・バス路線を地域と一体となって検討する。	生活交通の確保に向けた公共交通のあり方の検討及び観光地へのアクセス向上			生活交通の確保に向けた公共交通のあり方の検討及び観光地へのアクセス向上			共助交通の検討に向けたアンケート調査の実施			A.達成	3.現状維持	アンケート結果を精査し、関係団体と協議しながら町内の公共交通の方針を検討する。		福部町総合支所	

◆福部町

① 防災対策

塩見川の河川改修事業は順調に進み一定の効果は上がっていますが、浸水被害の心配が解消されるまでに至っていません。引き続き河川の整備を含めた治水対策について、関係機関と連携し進めていきます。

また、家屋の浸水被害が予想される地域では、河川改修工事の進ちょくに併せ、内水排除施設*の整備を行うなど、「浸水被害のない安全安心な暮らし」の確保に取り組む必要があります。

② 産業・観光振興

観光地として全国的に有名な「鳥取砂丘」は、山陰海岸国立公園と山陰海岸ジオパーク*における屈指の**見どころジオサイト**であり、観光資源として貴重な自然遺産の積極的な活用と保全に取り組むことが求められています。

その中にある砂丘地で栽培され、地理的表示保護制度（GI）に登録された「ふくべ砂丘らっきょう」「鳥取砂丘らっきょう」のさらなるブランド化や農水産物加工品の更なる開発を図る必要があります。

また、「観光梨狩り園」などを魅力的な観光スポットとして発展させるなど、福部町の特徴ある“新たな観光”の創出と全国への情報発信が重要です。

昭和62年から開催されている「鳥取砂丘らっきょう花マラソン大会」は、県外からの参加者も多く、らっきょうの知名度向上に貢献しています。

③ 新たな拠点づくりの推進

令和元年の福部町総合支所庁舎の耐震化工事に併せ、翌令和2年に福部町コミュニティセンターを支所庁舎と複合化しましたが、旧コミュニティセンターと隣接する町民体育館を解体撤去した後の用地の利用方法について、全市的な視点や地域の要望等を踏まえて利活用を検討する必要があります。

また、福部駅周辺整備も併せて検討を進める必要があります。 → 違和感がある感じ

④ 新たなインターチェンジを利用したまちづくり

山陰近畿自動車道には福部インターチェンジがありますが、まちづくりを始め、渋滞対策、防災の観点から、**福部町地内に新たなインターチェンジ（以下ICという）**を設置するよう国に要望しています。要望にあたり、**新たなICの設置で福部町が将来のまちづくりをどう進めていくのかをまとめた「福部のまちづくり構想」を平成29年度に策定しました。**今後もこの計画によりまちづくりを推進していく必要があります。

⑤ 福部循環バスの利用促進

現在鳥取市社会福祉協議会が主体となって福部循環バス「らっちゃんバス」を運行しており、福部未来学園の生徒の通学、高齢者の通院等に利用されているなどなくてはならない交通手段となっています。しかし、運転手の高齢化や乗車率低迷が続いており、

今後の人材確保と運営の継続が課題となっています。このため、新たな運行形態を地域と一体となって検討する必要があります。

⑥ 空き家対策

福部町では、お試し住宅を整備し、市内移住を検討される多くの方にご利用いただいています。今後は、空き家調査など福部町内の空き家運營業務を受諾してくれる新たな組織に受託を働きかけ、移住定住を促進するため、空き家の管理運營業務全般について情報共有を推進します。

●めざす将来像

心豊かで潤いのある砂丘の郷 福部町

全国的に有名な鳥取砂丘を有する福部町は、雄大な鳥取砂丘の魅力を活かしながら、世界初の砂像の屋内展示施設「鳥取砂丘砂の美術館」、砂丘が生み出す地域ブランド「砂丘らっきょう」、二十世紀梨を代表とする「観光梨狩り園」など魅力ある観光資源と融合した観光・産業振興を行い、「自然と調和し多くの人に親しまれる魅力に充ちた観光地」として、今後もますます発展して行くことが重要です。

また、山陰海岸国立公園を有する美しい自然と人情豊かな福部町の中で住民相互が交流を図り、郷土愛を育み、誰もが生きがいを持ち、健康で快適な暮らしができる協働のまちづくりを推進し、次世代につながる「心豊かで潤いのある砂丘の郷 福部町」をめざします。